

新設されました

2014(平成26)年度

東本願寺奨学金

(本学独自の奨学金制度④)

募集要項

帯広大谷短期大学

東本願寺奨学金（給付）

親鸞聖人のみ教えを建学の精神、教育の中心としている真宗大谷派学校連合会加盟校である学校法人帯広大谷短期大学に在籍する学生を対象に、「就学支援」及び「多様な分野で社会貢献する人」の誕生に資することを目的として、給付する奨学金です。

募集人数	原則 2 名
給付額	80 万円のうち、採用人数により決定する
給付期間	1 年間。
申請期間	7 月 22 日（月）から 9 月 19 日（金）
申請資格	1. 本学に在学の者 2. 成績が良好な者 3. 所属学科担当教員から推薦が得られる者 4. 3 月に宗務総長へレポートの提出ができる者 5. 宗派が後年実施するアンケートに協力できる者 6. 確実に連絡が取れる住所に所在している者
給付項目	(1) 就学支援 (2) 多様な分野での社会貢献活動 (3) 顕著な地域貢献活動
提出書類	【就学支援に関する申請書類】 (1) 東本願寺奨学金申請書及び誓約書(本学所定) (様式 1) (2) 東本願寺奨学金推薦書(本学所定) (様式 2) (3) 単位取得証明書又は高等学校の成績証明書 (4) 収入基準額資料(本学所定) (様式 3) (5) 宗派が定めるレポート (後年実施するアンケートへの協力を含む。) 提出誓約書 (様式 4) 【多様な分野での社会貢献活動及び顕著な地域貢献活動に関する申請書類】 (1) 東本願寺奨学金申請書及び誓約書(本学所定) (様式 1) (2) 東本願寺奨学金推薦書(本学所定) (様式 2) (3) 単位取得証明書又は高等学校の成績証明書 (4) 宗派が定めるレポート (後年実施するアンケートへの協力を含む。) 提出誓約書 (様式 4) (5) 活動計画書 (様式 5) (6) 活動報告書 (様式 6)
審査	書類によって審査を行う。
備考	1. この奨学金は、他の奨学金との併用を認めます。 2. 次の各号のいずれかに該当すると認められた場合には、給付を取消します。 (1) 宗派が求めるレポートの提出がなされなかった場合 (2) 申請事由が虚偽であったことが認定後に判明した場合 (3) 退学又は除籍された場合 (4) 本人が辞退を申し出た場合 (5) その他奨学生として適当でないと判断された場合

(東本願寺 様式 2)

東本願寺奨学金推薦書

年 月 日

帯広大谷短期大学長 殿

所属学科 _____

推薦者氏名 _____ (印)

この度、帯広大谷短期大学東本願寺奨学金申請にあたり、下記の通り推薦いたします。

記

学生氏名	
学 科 名	
推薦理由	

以上

収入基準額資料

帯广大谷短期大学長 殿

年 月 日

下記の記載事項に相違ありません。

学籍番号
学科

昭和

本人氏名 _____ 印 平成 年 月 日生 TEL _____

(〒 -) 携帯 TEL _____

本人住所 _____

(〒 -)

家族住所

I	ア	続柄	氏名	年齢	職業・所得の種類	A 収入・売上金額 (税込) 万円	B 控除額(給与所得者・必要経費(事業所得者) 万円	C 所得金額 A-B(税込) 万円	
								①	②
同 一 生 計	就学者を除く家族								
↑ 同一人で2種類以上の所得がある場合は、2段等に記入する。						[①～⑤の計]所得金額合計		⑥	

II	イ	続柄	氏名	設置者	就学者控除	通学別	控除額 万円	
							⑦	⑧
家 族	就学者(本人除く)			国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学	自宅・自宅外		
				国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学	自宅・自宅外		
				国公・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学	自宅・自宅外		

II 所得 から 差し 引 か れ る 金 額	ア	本人の就学者控除	自宅 44 万円・自宅外 87 万円	⑩	
	イ	母子・父子世帯	一律49万	⑪	
	ウ	障害のある人がいる世帯 (公害疾病の認定を受けた障害のある人、常に就床を要する要介護の人等)	一律86万	⑫	
	エ	主に家計を支えている者が別居している世帯(別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の実費)		⑬	
	オ	長期の療養を要する人のいる世帯(6ヶ月以上療養中の人、療養を必要とする人)	年間の医療費	⑭	
	カ	火災・風水害または盗難などの被害を受けた世帯 (前年から申し込み時まで被害を受け今後2年以上の支出増・収入減の年間金額)		⑮	
			[⑦～⑮の計]控除額合計	⑯	
		[⑥－⑯]認定所得金額	⑰		
		世帯人員 _____ 人 収入基準額	⑱		

III 1年生のみ確認欄・・・成績について、入学試験の時に提出した高等学校調査書の成績を使用することを同意します。 チェック欄

備考

(東本願寺 様式 4)

東本願寺奨学金レポート提出誓約書

年 月 日

帯広大谷短期大学長 殿

この度、帯広大谷短期大学東本願寺奨学金に採用された場合は、以下の内容を必ず協力
します。

記

1. 宗派が後年に実施するアンケートについて、協力します。

以上

学 生 氏 名 _____ (印)

学 生 住 所 _____
〒

電 話 番 号 _____

携 帯 電 話 番 号 _____

東本願寺奨学金 活動報告書

年 月 日

帯広大谷短期大学長 殿

学籍番号 _____

学生氏名 _____

帯広大谷短期大学東本願寺奨学金第 4 条第 2 号及び 3 号について、(社会貢献活動・地域貢献活動) を下記のとおり報告いたします。

1. 実施報告

実施報告	場所	実施内容又は行事内容

2. この活動によって、何を得ることができたか記入してください。

収入基準額資料

記入方法

帯広大谷短期大学 学長 様

下記の記載事項に相違ありません。

*出願学科名を記入してください。

個人情報記入欄

* 出身校、氏名、住所等の個人情報を記入してください。
ここに記された情報は、表記の特別奨学生審査資料以外に用いることはありません。

本人氏名 _____
(〒 _____)

本人住所 _____
(〒 _____)

家族住所 _____

課程・専攻	
課程・専攻	

I	続柄	氏 名	年 齢	職業・所得の種類	A 収入・売上金額 (税込) 万円	B 控除額(給与所得者・必要経費(事業所得者) 万円	所得金額 A-B(税込)万円	
I 同一生計の家族	ア 就学者を除く家族	父 母 _____	_____	_____	_____	_____	①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
							⑥ 額合計	
	イ 本人を除く就学者	続柄	_____	_____	_____	_____	_____	学別 控除額 万円
								⑦ 自宅外
								⑧ 自宅外
								⑨ 自宅外
⑩ 国公・私立 小・中・高・高专・専修(高等・専門)・大学 自宅・自宅外								
II	ア 本人の就学者 イ 母子・父子世帯 ウ (子女が18歳未満及障害のある人 (公害疾病の認定を	II 所得から差し引かれる金額に関して					⑪	
証明書を別途添付していただくものについては資料IIIにしたがってください。 ア 本人就学者控除は、自宅生 44万、自宅外 87万のいずれかを記入してください。 イ 該当の世帯の方は、一律 49万円を記入してください。 ウ 障害のある人がいる世帯の方は、一律 86万円を記入してください。(資料III)					⑫			
⑬								
II						⑭ 額合計		
					⑮ 金額			
					⑯			
					⑰ 基準額			

出願 出願予定の奨学金があれば○をして下さい

日本学生支援機構 第一種奨学金 その他 []

日本学生支援機構 第二種奨学金

資料Ⅱ

就学者控除・収入基準に関して

(1) 就学者控除について

同一世帯内に就学者（本人は除きます）がいる場合には、在学している学校の種類に応じて控除を受けることができます。控除額については、下表を参照してください。

大学通信教育部および大学院（通信を含む）の学生は国公・私立のそれぞれの大学学生として、放送大学の全科履修生は私立大学学生として、控除してください。なお、科目等履修生・聴講生・研究生・予備校生・各種学校の在学学生は控除を受けることができません。

就学者控除（本人を除く）			
小学生 1 人につき		8 万円	
中学生 1 人につき		16 万円	
		自宅通学	自宅外通学
高校生 1 人につき	国公立	28 万円	47 万円
	私立	41 万円	60 万円
高等専門学校生 1 人につき	国公立	36 万円	55 万円
	私立	60 万円	80 万円
大学学部・短大大学生 1 人につき	国公立	59 万円	102 万円
	私立	101 万円	144 万円
専修学校高等課程在学学生 1 人につき	国公立	17 万円	27 万円
	私立	37 万円	46 万円
専修学校専門課程在学学生 1 人につき	国公立	22 万円	62 万円
	私立	72 万円	112 万円

(2) 収入基準について

世帯人数あたりの収入基準額を記入してください。

世帯人数	基準額
1 人	104 万円
2 人	164 万円
3 人	190 万円
4 人	207 万円
5 人	223 万円
6 人	235 万円
7 人	244 万円
8 人以上	以下 1 人あたり 9 万円を加算する。

資料Ⅲ**添付書類に関して**

(1) 以下の区分により、いずれか該当する所得証明書を添付してください。

家計支持者の所得の種類	証明書の写し等	発行所
①給与所得者(サラリーマン)	前年度分給与所得源泉徴収票	勤務先 (12月発行済)
②事業・配当・不動産・雑所得(自営業)	確定申告控と確定申告決算(報告)書 〔貸借対照表や損益計算書〕	税務署(3月15日期限) 申告の控
③年金(恩給等)受給	源泉徴収票または年金交付通知書	社会保険庁等
④転作奨励金交付	水田営農活性化助成補助金決定通知	市町村役場
⑤前年途中および当年就職	年収見込証明書または月収証明書	勤務先
⑥退職(予定)	退職(予定)証明書または退職金 支給(予定)額証明書	勤務先
⑦失業	雇用保険受給証明書	職業安定所

(2) 特別控除の証明書の添付書類に関して(該当者のみ)

対象世帯	証明書の写し等	発行所
①障がいのある人がいる	身体障害者手帳(写し)	市町村役場

(3) 生徒本人の成績証明書(本人開封無効、入試出願書類とは別に用意し提出してください。)

証明書	発行所
高校1～3年次(定時制2～5年次)の成績証明書	出身高等学校

帯広大谷短期大学

〒080-0335 河東郡音更町希望が丘 3 番地 3

TEL : 0155-42-4444 FAX : 0155-42-4499

E-mail : inform@oojc.ac.jp